

中小企業家同友会と提携 会員対象に金利優遇!



業務提携を締結した大城頭取と中小企業家同友会の係数代表理事

琉球銀行は、二〇〇六年九月、中小企業家同友会(係数久美子代表理事)とビジネスローンについて業務提携を締結しました。

これにより、同会の会員企業が琉球銀行のビジネスローン「順風満帆」と「ベストサポーター」を新規に契約する際、通常より〇・三%優遇された金利で借入れ入れることが可能になりました。

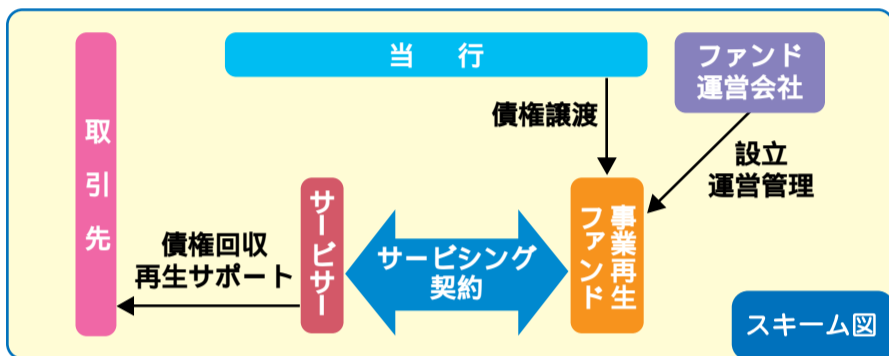
「順風満帆」と「ベストサポーター」は、統計分析に基づく自動審査システムの活用により「無担保」「第三者保証人不要」「スピード回答」を実現した商品で、融資額は最大五千万円、返済期間は最長七年間となっています。

二〇〇三年十一月の発売以来、多くの個人事業主、中小



企業の皆さまにご利用いただいております。発行額は一商品合計で三百十億円となっています。

琉球銀行は、今回の業務提携やニーズにあった商品開発を通して、県内の中小企業を支援し、県経済の発展に貢献してまいります。



再生ファンド2社と 提携企業の 事業再構築を支援

琉球銀行は二〇〇六年六月、取引先企業の再生を支援する事業再生ファンドのジェイ・ウィル・パートナーズ(東京都、佐藤雅典社長)、リサーチ・パートナーズ(東京都、井無田敦社長)の二社と業務提携契約を締結しました。

これにより、琉球銀行の事業再生ファンドの提携先は六社となり、各ファンドの再生ノウハウを活用しながら、対象となる中小企業の事業再構築を効果的に進めることが可能となりました。

琉球銀行は、今後とも中小企業の再生を積極的に支援すること、地域経済の活性化促進を目指していきます。

台風十三号被害 台風被災者支援 特別融資を実施

琉球銀行は二〇〇六年九月、超大型の台風十三号による被災者を対象とした災害復旧支援特別融資を全営業店で取り扱いました。

支援特別融資では、被災した事業所の修繕・改装や運転資金を通常金利より優遇するほか、個人のお客さまの住宅建替・改装・修繕のための住宅ローン、リフォームローン、自動車の破損、水没による修理や買い替えなどについても、通常の適用金利から優遇しました。

また、二〇〇六年十一月には、石垣市、竹富町に対してりゅうぎんユイマール助成会および琉球銀行から台風被災者に対して「救援義援金」を贈呈しました。

貸出業務全般の状況

琉球銀行の貸出金の95.2%は、県内のお客様向けの貸出です。また、中小企業向けの貸出についても98.2%は県内のお客様向けの貸出です。2006年9月末の貸出金残高は、2004年度、2005年度に実施した住宅ローン証券化による残高減少要因がなくなったことなどにより、前期末比32億円増加の1兆537億円となりました。

●貸出業務全般の状況 単位：百万円、先

	2006年3月末	2006年9月末
総貸出金残高	1,050,597	1,053,787
県内の貸出金残高	1,021,322	1,003,587
県内の貸出先数	102,016	100,425
県外の貸出金残高	29,275	50,200
県外の貸出先数	91	93

●中小企業向け貸出業務の状況 単位：百万円、先

	2006年3月末	2006年9月末
中小企業向け貸出金残高	584,022	581,744
県内の中小企業向け貸出金残高	580,978	571,086
県内の中小企業向け貸出先数	10,278	9,327
県外の中小企業向け貸出金残高	3,044	10,658
県外の中小企業向け貸出先数	11	14
保証協会保証付貸出金残高(県内のみ)	44,487	41,348
保証協会保証付貸出先数	3,522	3,341

●業種別貸出業務の状況 単位：百万円

	2006年3月末	2006年9月末
製造業	46,278 (534)	51,615 (508)
農業	2,676 (216)	2,681 (188)
林業	10 (1)	9 (1)
漁業	786 (47)	731 (40)
鉱業	1,855 (15)	1,699 (15)
建設業	74,103 (1,695)	70,190 (1,539)
電気・ガス・熱供給・水道業	8,127 (38)	11,082 (40)
情報通信業	6,223 (103)	7,155 (89)
運輸業	17,153 (237)	16,781 (215)
卸売・小売業	115,600 (2,010)	114,250 (1,803)
金融・保険業	29,188 (67)	33,701 (50)
不動産業	171,521 (2,169)	175,015 (2,186)
各種サービス業	190,037 (3,221)	185,726 (2,739)
地方公共団体	81,480 (33)	68,526 (27)
その他	305,556 (91,712)	314,621 (91,078)
合計	1,050,597 (102,107)	1,053,787 (100,518)

(注) 内は先数 表上の値は各項目とも切り捨て表示です。

経営改善支援の取り組み実績

2006年度 [2006年4月～2006年9月]

単位：先数

	期初債務者数	経営改善支援 取り組み先	期末に 債務者区分が 上昇した件数
正常先	8,403	17	—
要注意先	うちその他要注意先	1,246	186
	うち要管理先	99	32
破綻懸念先	243	38	2
実質破綻先	334	0	0
破綻先	70	0	0
合計	10,395	273	13

債務者区分の定義

- 正常先：業況良好で財務内容にも特段の問題がないと認められる先
- 要注意先：今後の管理に注意を要する先
- 要管理先：要注意先のうち3カ月以上の延滞または貸出条件を緩和しており今後の管理に注意を要する先
- 破綻懸念先：今後経営破綻に陥る可能性が高いと判断される先
- 実質破綻先：法的、形式的な経営破綻の事実が発生していないものの、実質的に経営破綻に陥っている先
- 破綻先：法的、形式的な経営破綻の事実が発生している先